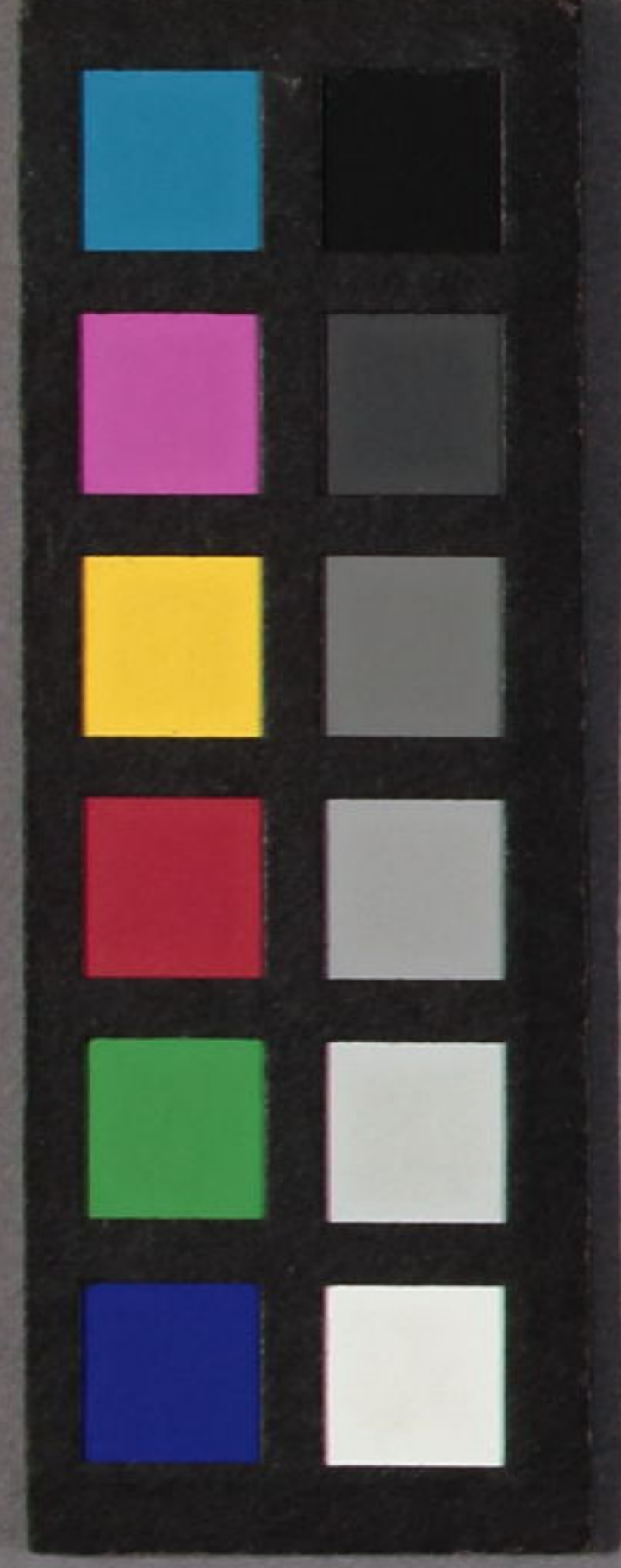
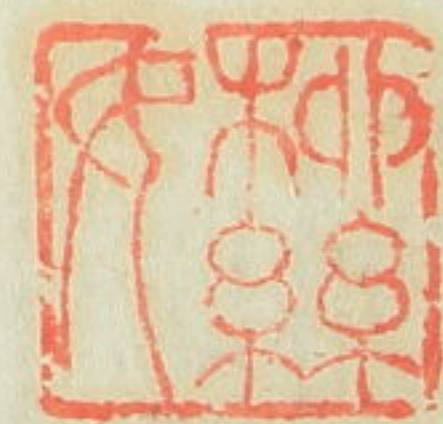


四季類題花箋集
夏



四月	初	帷子	○筑摩祭	佛產湯	○夏	大夫敷
卯月	裕	青簾	灌佛會	竿花	書	昼寐
初夏	綿技	葵祭	佛生會	竿躑躅	夏簞	新茶
更衣	單物	○日吉祭	花御堂	夏花摘	○子團子	古茶



風炉茶	海羅子	短夜	明安夜
青嵐	麥秋	麥芥	卯花
牡丹	芍藥	杜若	芥子
葵	苔花	茨花	風車花
日車花	美人艸	○岩藤	胡蝶花
鳶尾	○踊草	○茶挽艸	玉葉芭蕉
玉卷葛	蓮浮葉	苔臺	落
蓼	芊植	青山椒	抽花

枳殼花	白丁子	鷹爪	梭栲花
繡毬花	○岩梨	藪椿	柿花
余花	桐花	新樹	若葉
茂	夏木立	木下崗	葉櫻
櫻實	若楓	葉柳	夏艸
艸茂	夏	夏野	夏山
夏川	○當藥未落葉	松落葉	竹落葉
笋	子規	老鶯	鶯音入

○舊時入	○開古鳥	○行夕子	○霞切	青鸞
蠶	蝙蝠	枝蛙	雨蛙	
蠅虎	蚯蚓出	初蟬	蚋子	
蚊柱	飛蟻	子子	蚊	
紙帳	蚊遣火	初蚊屋	蚊屋	
五月	初松魚	鯨	鹿袋角	
五月	皋月	夏至	端午	
菖蒲	菖蒲茸	○菖蒲酒	菖蒲刀	菖蒲湯

○藥玉	○藥日	半夏生	梅雨晴	石菖蒲	百合花	真菰	栗花
粽	競馬	五月雨	五月間	萱草花	藻花	菰木	柘榴花
初幟	○印地打	五月晴	○虎雨	红花	藻荇	酸漿草	盧橘
幟	○竹醉日	梅雨	夏月	蚊帳釣針	萍	夏菊	合歡花

早苗	若竹	角花	早松茸	早桃	生胡桃	覆盆子	神花
田植	今年竹	越瓜	藜	李子	青梅	空豆	○棟花
早乙女	竹皮落	胡瓜	初茄子	杏子	于梅	栗實	南天花
青田	早苗廂	瓜	茄子	枇杷	煮梅	山樞子花	紫陽花

田中取	蛭	水鷄	賴	水鳥巢	○照射	薄羽織
豆植	蛭賣	賴川	翡翠	龜啼	于鰓	帷子
蛭	蝸牛	鵜舟	羽拔鳥	藥打	夏衣	○山花
蛭狩	蚰蜒	賴簍	○浮巢	鹿子	夏羽織	

六月	水無月	○冰室	○冰賣
○冰餅	○一夜酒	祇園會	祇園鉾
○驚竹切	○御拔	夏越技	夏越
○河社	○形代	芽輪	富士詣
量垢離	冬天	土用	土用于
虫于	扇子	團扇	汗
汗拭	掛香	日傘	○葦
簞枕	○抱簞	竹婦人	暑

雲峯	夕立	雨乞	涼
薰風	納涼	清水	打水
心太	葛水	冷水	水賣
水飯	○引飯	切麥	冷酒
冷汁	煮冷	○夏切茶	○香薷散
夏瘦	曝井	蓮	沢泻
河骨	菱花	○蓴	海松
撫子	石竹	釣鐘艸	風蘭

玉簪	雪下	鷺艸	日扇
青鬼灯	林檎	麻	夏引糸
綿花	紫菀	小角豆	胡麻
真桑凡	昼顔	夕顔	葛花
百日紅	練雲雀	蟬	空蟬
毛虫	蠅	蚤	燈蛾
夏虫	鯖釣	海月取	沖鱸
川狩	秋近	秋隣	秋待

類題發句花筏集

伊賀 薄墨菴鷺秋 編
皇都 方圓齋素信 校

夏之部

四月 碑いふふふふふふふ 四月うす 竹臺
鶏りものふふふふふふ 四月し 知考
おふけふふふふふふ 四月し 居畔
居眠ふふふふふふ 四月し 白菫女
けふふふふふふふ 四月し 墨山
けふふふふふふふ 四月し 計票

卯月

東風留まじりて春をく	四月外	草子
惜春をいふ人ぞあり	四月外	字鷗
吹くぬくをいふ人ぞあり	四月外	精義
あつちをいふ人ぞあり	四月外	左琴
はるけきと云ふ人ぞあり	四月外	鷺秋
さくさく梅をいふ人ぞあり	卯月外	梅室
都をいふ人ぞあり	卯月外	天遊
はるけきと云ふ人ぞあり	卯月外	二文
はるけきと云ふ人ぞあり	卯月外	芳英
あつちをいふ人ぞあり	卯月外	笑々

夏二

初夏

喰ふものあつちをいふ人ぞあり	卯月外	波文
さくさく梅をいふ人ぞあり	卯月外	蓬室
初夏やあつちをいふ人ぞあり	卯月外	是水
初夏やあつちをいふ人ぞあり	卯月外	二文
初夏やあつちをいふ人ぞあり	卯月外	鷺秋
初夏やあつちをいふ人ぞあり	卯月外	鳳朗
初夏やあつちをいふ人ぞあり	卯月外	郁文
初夏やあつちをいふ人ぞあり	卯月外	可細
初夏やあつちをいふ人ぞあり	卯月外	已青
初夏やあつちをいふ人ぞあり	卯月外	居畔

更衣

初 拾

後乃摘出あらね	更衣	鷺秋
駝馬もみまをわて	河拾	蟻兄
るてあねとね	あう	知通
手 equal 杖も	あね	沙丈
相日や	あね	標梅
強	あね	其鳳
子供	あね	戴弁
ま	あね	貫雪
一	あね	千翠
あ	あね	野巢

拾

綿 技
單 物

う	二文
ひ	超翠
ほ	五鈴
か	鷺秋
あ	梅井
か	乙鵝
後	左琴
わ	易月
新	竹臺
新	鳥滝

佛産湯

ふ供ふにやうなをいふまをいふ
雪斎

竿花

ふふふふふふふふふふふふ
三岳

ふふふふふふふふふふふふ
月世

竿躑躅

ふふふふふふふふふふふふ
竹需

ふふふふふふふふふふふふ
李乐

夏花摘

ふふふふふふふふふふふふ
由水

ふふふふふふふふふふふふ
鷺秋

夏新

ふふふふふふふふふふふふ
竜山

ふふふふふふふふふふふふ
鼈秋

ふふふふふふふふふふふふ
魚

ふふふふふふふふふふふふ
雨橋

夏書

ふふふふふふふふふふふふ
三峯

ふふふふふふふふふふふふ
山蝶

ふふふふふふふふふふふふ
蝶

ふふふふふふふふふふふふ
雨橋

ふふふふふふふふふふふふ
雨橋

ふふふふふふふふふふふふ
雨橋

糸子すゑとくえんくらぬ月支外 慈弓
 年子保もつゝなきあひるあ外 偶水
 陸とんりやえむのちもつゝき 一鷺
 四月十六日より七月十六日までの一ヶ月の間
 昔あはれうゝ事なすといふて

四月十六日より七月十六日までの一夏九旬のる
きあはれなる雲の合点とて云ふ

古人のう

多心然のうらよそく一宮をたふ魚潜

草子

世にふくむるをきかむる
 世にふくむるをきかむる

甘きなり身をあはる池のう
書 別

二井らふも、子なかりに、れゑとの、も、あを、ね、み
こゝろへ、い、ん、子、母、種、へ、そ、な、中、ま、なりと、あ、街、の
き、さ、う、れ、を、と、い、ひ、か、つ、ま、なり、四、月、廿、ち、り
なり

夏大

花入り
 子とわたりなまとのねやふふ子
 眠る
 花
 楽

英人乃々々

子とわたりなみのねやみそ子 賦

花樂

千國より六眼の資の子 山椿

鷄
七
子
家
劉
何
子
子
子
鷺
秋

ゆづるをつまぬくみや大矢野 山良

あなごも海老も大食す
琴臺

得乃坐乃下乃起乃大乃歌
六琴

[illegible]

日之りみをかゝる午睡外
拙角

[illegible]

昼寢

實雪

新茶

まゝの枝のさふきつゝしるも枝外	止
ふしうけのち紙らゝつたのち外	席
まじりのふりやうふい新茶外	白
魚盤おちや新茶のちうしき	雅
いふふくあやめりうき新茶外	希
かみりふのちうしき新茶のち	声
ふふふくあやめりうき新茶外	金
うはちのちうしき新茶のち	葩
古茶うふくあやめりうき新茶外	鷺
古茶うふくあやめりうき新茶外	秋
古茶うふくあやめりうき新茶外	鵬
古茶うふくあやめりうき新茶外	居
古茶うふくあやめりうき新茶外	古
古茶うふくあやめりうき新茶外	奇
古茶うふくあやめりうき新茶外	毛
古茶うふくあやめりうき新茶外	野
古茶うふくあやめりうき新茶外	鳥
古茶うふくあやめりうき新茶外	白

古茶

風炉茶

海蘿干

短夜

はるるるるるるるるるるるるるる	三
はるるるるるるるるるるるるるる	峯
はるるるるるるるるるるるるるる	葉
はるるるるるるるるるるるるるる	雨
はるるるるるるるるるるるるるる	玄
はるるるるるるるるるるるるるる	年
はるるるるるるるるるるるるるる	工
はるるるるるるるるるるるるるる	竜
はるるるるるるるるるるるるるる	鷺
はるるるるるるるるるるるるるる	秋
はるるるるるるるるるるるるるる	桐
はるるるるるるるるるるるるるる	一
はるるるるるるるるるるるるるる	草
はるるるるるるるるるるるるるる	子
はるるるるるるるるるるるるるる	心
はるるるるるるるるるるるるるる	拙
はるるるるるるるるるるるるるる	二
はるるるるるるるるるるるるるる	交
はるるるるるるるるるるるるるる	帆
はるるるるるるるるるるるるるる	平

牡丹

かたけしとてふもこころ牡丹か	ほろけしとてふもこころ牡丹か	あけしとてふもこころ牡丹か	あけしとてふもこころ牡丹か	あけしとてふもこころ牡丹か	あけしとてふもこころ牡丹か	あけしとてふもこころ牡丹か	あけしとてふもこころ牡丹か	あけしとてふもこころ牡丹か	あけしとてふもこころ牡丹か
梅室	圓朗	一此	待友	湯水	速路	海山	茶頼	待友	湯水

あけしとてふもこころ牡丹か	あけしとてふもこころ牡丹か	あけしとてふもこころ牡丹か	あけしとてふもこころ牡丹か	あけしとてふもこころ牡丹か	あけしとてふもこころ牡丹か	あけしとてふもこころ牡丹か	あけしとてふもこころ牡丹か	あけしとてふもこころ牡丹か	あけしとてふもこころ牡丹か
藤文	竹臺	雲峰	傳秋	奇窓	蒼山	甫花	二文	知来	待友

芍藥

牡丹外
 牡丹外
 花水
 朱芳
 山椿
 乙亥
 栄枝
 梅室
 吾水
 左琴

杜若

五雪
竈丁
蛸月
東宗
寧秋
止友
京臨
花有
淡豊
而后

芥子

しるもてちとる 芥子の皮にふ
まゝのけりわつて手桶にすけ
あふけいふささるる 里やうのお
ぬかきとあをこまそくくのあ
一ひれくくうとくと日か
たろえんものもせめく細
ふくーやらう刻く舟きい
とあふささるるにさすく移と
くけくけくあのかうらうが
明日までくつひにくちやくのふ

岳圖

三千九

計

万丈

魚泉

虫夢

くらきく 西のつたけ あつたふ
 りくつて 生るるふふ ふふふ
 きくと 直根を 結ぶふふふふ
 くらきく 結ぶふふふ 結ぶふふ

紅林

遼平

半二

警秋

茨花

苔花

横へいやは乃程くは昔のま
 めくもあしうさう吾のま
 わさすひ山根のまやうけのま
 日のもとのまはては昔のま
 五六十年のまはては昔のま

半二

頁雅

警秋

鳳朗

田うらとくはる夜ふも 一具
 谷うらやうはる夜ふも 一吐
 日埃うらとくはる夜ふも 省吾
 夜うらとくはる夜ふも 佳紫
 笑日まていふはる夜ふも 警然
 吹あうはる夜ふも 古高
 日あうはる夜ふも 工務
 日あうはる夜ふも 山椿
 日あうはる夜ふも 磐秋
 うらうはる夜ふも 双鵝

古人行るを
袖ふて懐もなまや踊けり民古

やふふふふふふふふふふ 左琴

おろそかに
荳麦とて田所也自とて之を養ふ小者ふ
弱く種細

古人の心を

ロ人のちを
きふや紫をふん眠ふ美露神
ヒコ 佐若知

川東不賦
花窗

玉夾甘蔗

月と雲とをわかれなむとて
おのれをまじへんとて日のち

林雪
香嶽

玉尖芭蕉

玉尖芭蕉

玉卷葛

今秋
 古

蓮浮葉

かゝるも竹葉のちりふ
人まやは葉のちりふ
双葉 朝江

苣
葦

下りては
 月あけや
 昔の事
 雅父
 郭柯

路

露の葉もさくさくありて
 西の風の塵もさくさくありて
 山
 楽

蓼

諸人乃予之。乃其美也。啓於

芋植

梅さくらあゝかゝるやまゝりた
ねもやまゝたかゝる日をば

和廣
柳月

青山椒

芋植さゝねるかゝる月あけ
月乃あてあけけ芋植さ

古齊
夢龍

柚花

——とらるるやまゝ山椒
ゆめうつつさあけけ花あけ

重夢

ゆめうつつさあけけ山椒

里中

取らるるやまゝ山椒

二天

竹さきやし——とらるる山椒

呂明

枳壳花

石懸さきさき山椒
けりあゝさきさき山椒

芥舎
長水

白丁子

あけさきさき山椒
西さきさき山椒

鳥古
山笑

鷹爪

あけさきさき山椒
尾さきさき山椒

香笑
石海

桜榴花

まんさくさき山椒
只見さきさき山椒

花古
諺秋

繡球花

常——さき山椒
小てまりさき山椒

林月
源久

若葉

井の中へひくお母の宮うき	茶峰
さきさへ人かゝるまゝお母外	奏園
月さきさへまゝあがりさき外	鳳朗
さきさへまゝあがりさき外	岱年
切さへまゝあがりさき外	卓池
さきさへまゝあがりさき外	玉阜
さきさへまゝあがりさき外	生章
さきさへまゝあがりさき外	佐郎
さきさへまゝあがりさき外	帆帆
さきさへまゝあがりさき外	遊江

成リ

井の中へひくお母の宮うき	未井
さきさへまゝあがりさき外	子裕
月さきさへまゝあがりさき外	良乙
さきさへまゝあがりさき外	買雪
切さへまゝあがりさき外	産郊
さきさへまゝあがりさき外	夢終
さきさへまゝあがりさき外	辻年
さきさへまゝあがりさき外	糸像
さきさへまゝあがりさき外	逸之
さきさへまゝあがりさき外	字鴻

夏才主

志くもあつたあつたはるき戸口ふ 止支
うさゝの作をみせしあつたれ 市羅
あつたの枝口くすあつたれ 木炭
あつたあつたの中あつた谷の所 蓮室
照つてあつたあつたあつたあつた 東菊
あつたあつたあつたあつたあつた 千竿
梅枝のつてあつたあつたあつたあつた 梅女
あつたあつたあつたあつたあつたあつた 柳甫
あつたあつたあつたあつたあつたあつた 甫旧

木下閣

葉櫻

あつたあつたあつたあつたあつたあつた 市羅
あつたあつたあつたあつたあつたあつた 岷山
あつたあつたあつたあつたあつたあつた 佑迪
あつたあつたあつたあつたあつたあつた 花水
あつたあつたあつたあつたあつたあつた 琴瑟
あつたあつたあつたあつたあつたあつた 琴瑟
あつたあつたあつたあつたあつたあつた 草子
あつたあつたあつたあつたあつたあつた 草子
あつたあつたあつたあつたあつたあつた 草子
あつたあつたあつたあつたあつたあつた 草子

櫻 実

ゆづりふもかしつゝとさるゝ実

水竹

事ふは実のまゝとさるゝ実

太六

西ふつて実とさるゝ枝のま

一州

ゆづりふもかしつゝとさるゝ実

大夢

石 楓

ゆづりふもかしつゝとさるゝ実

五嶺

ゆづりふもかしつゝとさるゝ実

驚秋

ゆづりふもかしつゝとさるゝ実

楓巖

葉 柳

ゆづりふもかしつゝとさるゝ実

室山

ゆづりふもかしつゝとさるゝ実

室山

夏 州

ゆづりふもかしつゝとさるゝ実

夢秋

州 茂

ゆづりふもかしつゝとさるゝ実

夢秋

ゆづりふもかしつゝとさるゝ実

夢秋

夏

ゆづりふもかしつゝとさるゝ実

夢秋

ゆづりふもかしつゝとさるゝ実

夢秋

ゆづりふもかしつゝとさるゝ実

夢秋

ゆづりふもかしつゝとさるゝ実

夢秋

夏 野

ゆづりふもかしつゝとさるゝ実

夢秋

ゆづりふもかしつゝとさるゝ実

夢秋

夏 山

ゆづりふもかしつゝとさるゝ実

夢秋

甘山や梅うきさうのう
 甘山うきさうのう
 甘山や梅うきさうのう
 甘山うきさうのう

漁火のこゑおぼしき夕川
甘美の居るくさむしを思ふ

しきとてふ事、位々の者さへ入るゝ志はまじく思ふ
又酒の味傳俗よりいと事無本といふ多ふに
わづらひと事無本とむねもよなりをいふ
るがすてふあつた事を事無本やといふ
古人のうけ
ときとて木ありそふかあるやと申
おろし葉しともさう事無本の葉さへ
ときふやとふ葉よりきく射した
雪秋

山笑

又松葉あやも海と夢の友
 又あやも海と松葉あ
 又あやも海と松葉あ
 今彼

竹のさやほろろあはこころ代
わたりあはこころほろろあは
ふけろろあはこころあはこころ
夜白

牛乃多やてあゝさゝき
 卓池
 角やあゝさゝき
 貞哉
 牛乃多や便合とてはさき
 景丹

規

けりまの海らうきすけ	けりまや垣らうきすけ	けりまや垣らうきすけ	けりまや垣らうきすけ	けりまや垣らうきすけ	けりまや垣らうきすけ	けりまや垣らうきすけ	けりまや垣らうきすけ	けりまや垣らうきすけ	けりまや垣らうきすけ
白雀女	者吾	吟吟	兼蜀	踏秋	茶香	二交	周朗	九起	卓池

あふきん所らうきすけ	あふきん所らうきすけ	あふきん所らうきすけ	あふきん所らうきすけ	あふきん所らうきすけ	あふきん所らうきすけ	あふきん所らうきすけ	あふきん所らうきすけ	あふきん所らうきすけ	あふきん所らうきすけ
夜白	杜鰲	知道	居畔	一甫	吐雲	乙交	惟一	修竹	針丈

老 鸞

山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
省	霞	一	宝	浦	淡	鸞	月	梅	秋
吾	尸	阿	樹	第	部	秋	圓	室	

鸞 寺 入

山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
宇	都	相	芦	鳳	千	梅	楓	草	秋
逸	川	一	多	朗	翠	室	葉	子	

閑 古 島

行々子

くら樹もふさふさほにうんふさ 雲
 人さうふさう斤向かんふさ 布国
 ふさふさふさふさふさふさ 泰山
 村おちふさ戸かんふさ 恒里
 起ふさ種もふさ目やふさ 相古
 人ほふさふさふさふさ 珍々
 雲ふさふさふさふさふさ 雲々
 霞切ふさふさ割草ふさふさふさ
 中ふさふさふさふさふさふさ

古人のふさ

ふさふさふさふさふさふさ 重平

霞切

田の中はふさふさふさ 不二雄
 啼ふふさ柳ふさふさふさ 五八九
 常止んふさふさふさふさ 蕉山
 ふさふさふさふさふさ 柳甫
 ふさふさふさふさふさ 草子
 ふさふさふさふさふさ 永明
 ふさふさふさふさふさ 左琴
 ふさふさふさふさふさ 西
 ふさふさふさふさふさ 一
 ふさふさふさふさふさ 珍々

蚊柱

双鶴
 柳月
 九花
 標山
 梳谷
 凸凹
 松圃
 草子
 鳳朗
 岳風

蚊遣火

柳口
 鴈處
 林曹
 素屋
 均波
 友高
 幹口
 意約
 竹秋
 柏榮

ねんきとむくくむく種く不
 主列もはたふれ人やおね魚
 一あう縁ハハハハハハハハ
 賞うわふふふふふふふふ
 鄭もや舟はふふふ角ふふ
 陣う魚すうあまてあふふ
 ねんきとむくくむく種く不
 主列もはたふれ人やおね魚
 一あう縁ハハハハハハハハ
 賞うわふふふふふふふふ
 鄭もや舟はふふふ角ふふ
 陣う魚すうあまてあふふ

凸 鷺 丁 九 沙 杜 甫 竹 花 夢
 凹 秋 知 野 窗 水 旧 墨 遊 於

未
 月
 老

朗山志序

五月

五月

あけふのあけふの五月

菅人

あけふのあけふの五月

二交

あけふのあけふの五月

鷺秋

あけふのあけふの五月

初雅

皐月

あけふのあけふの五月

草子

あけふのあけふの五月

琴秋

あけふのあけふの五月

花あ

あけふのあけふの五月

た琴

夏至

あけふのあけふの五月

新花

懺

藥日

つゝなぐらゝつゝつゝつゝ
 綿糸とらゝつゝの懺ふ 楓下
 紫柳とちりつゝ懺ふ 春門
 おゆ衣りゆつゝ懺ふ 梅室
 五月五日なりつゝ懺ふ 竹臺
 九散と細合すつゝ懺ふ 柳也
 て州つゝ懺ふ 柳也
 おつゝ懺ふ 柳也
 つゝ懺ふ 柳也
 古人のつゝ
 まふ柳やゆふ月とつゝ 柳也
 やつゝ懺ふ 柳也
 つゝ懺ふ 柳也

競馬

印地

あつゝつゝつゝつゝつゝ 驚秋
 りつゝつゝつゝつゝつゝ 墨山
 まつゝつゝつゝつゝつゝ 楽井
 りつゝつゝつゝつゝつゝ 工部
 我あつゝつゝつゝつゝつゝ 梅室
 まつゝつゝつゝつゝつゝつゝ 印地
 古人のつゝ
 あつゝつゝつゝつゝつゝ 尾
 ちあつゝつゝつゝつゝつゝ 左琴
 印地つゝつゝつゝつゝつゝ

竹醉日

萬葉集曰五月十三日なりけ日竹酔る事
竹酔日と云ふ又竹迷日と云ふ日竹酔る
事と云ふ事なり

古今の事

竹酔る事なり竹酔る日なり集の事なり

竹酔る事なり	竹酔る事なり	竹酔る事なり	竹酔る事なり	竹酔る事なり	竹酔る事なり	竹酔る事なり	竹酔る事なり	竹酔る事なり	竹酔る事なり
水由	藤文	賢秋	太華	金岳	希緒	芝田			

半夏生

五月雨

半夏生	五月雨	五月雨	五月雨	五月雨	五月雨	五月雨	五月雨	五月雨	五月雨
秀可	崔西	洪雲	井賢	雲雁	菴尾	四溪	都積	白馬	馬良

五月晴

梅雨

五月

十のうゝあめくちやみ月明
 山冷りめくさきや梅雨の雨
 らぎうきも降る梅雨の雨
 晴るまふかくさかや梅雨の雲
 恒細り来ともや一あめの雲
 海にちちひすくはの雲の影
 もあめ晴のあーさくらなもあけ
 はこころがまや梅雨ふく—
 あつちのこもあや梅雨の雲小口
 やうはなうし根へあそびみ月宮

雪秋
 柳二
 夢真
 蓬室
 左琴
 五柳
 古也
 月渡
 島月
 花采

帝 雨

庭上りてあふる雨の音 三 五

五月廿八日 今昔集 我々の集 成るる日なり
要す 集るる 雨の音 雨の音 雨の音

古人の言

果して 雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

田舎の雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

夏 月

夏月 雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

雨の音 雨の音 雨の音 雨の音

石菖蒲

舟あふ緑をこころに夏は月

清秋

ふ草のわが心をわが眼のうへ

柳枝

る草のあふくをのふとふ

菖雨

萱花

ふふ花をこころに花をこ

市光

ふふ花をこころに花をこ

夕叶

紅花

ゆふ花をこころに花をこ

清秋

ゆふ花をこころに花をこ

浪中

ふふ花をこころに花をこ

り年

ふふ花をこころに花をこ

賀岡

ふふ花をこころに花をこ

上童

秋家釣舟

一花のふふ花をこころに

可章

ふふ花をこころに花をこ

柴山

ふふ花をこころに花をこ

朝山

百合花

ふふ花をこころに花をこ

昂左

ふふ花をこころに花をこ

惟草

ふふ花をこころに花をこ

巧矢

ふふ花をこころに花をこ

到舟

ふふ花をこころに花をこ

墨居

ふふ花をこころに花をこ

遠室

ふふ花をこころに花をこ

系静

南天花

紫陽花

五机
支子
素延
木雪
九起
可火
北巢
五終
古文
修秋

生胡桃

山振ふのやもはつらつと青
古齊
つよのふもあつとせうと

青梅

ふつと緑のやもあつと
去心
かろと清のやもあつと

まろとやふつとあつと
都雄
まろとやふつとあつと

干梅

まろとやふつとあつと
木井
干つとやふつとあつと

煮梅

干つとやふつとあつと
古
煮つとやふつとあつと

早梅

つよのふもあつとせうと
山
つよのふもあつとせうと

李子

つよのふもあつとせうと
様
つよのふもあつとせうと

杏子

つよのふもあつとせうと
お
つよのふもあつとせうと

枇杷

つよのふもあつとせうと
白
つよのふもあつとせうと

早松茸

つよのふもあつとせうと
松
つよのふもあつとせうと

藜

初茄子

茄子

わらわふもどくもふもふ	世はふもふもふもふ	老ふもふもふもふ	煙もふもふもふもふ	あふもふもふもふもふ	あふもふもふもふもふ	あふもふもふもふもふ	あふもふもふもふもふ	あふもふもふもふもふ	あふもふもふもふもふ
柑	鳥	文	中	天	梅	梅	梅	梅	梅

凡花

越凡

胡凡

凡

百も切も切も切も切	つるも切も切も切も切	舟も切も切も切も切	一日も切も切も切も切	凡も切も切も切も切	越凡も切も切も切も切	胡凡も切も切も切も切	凡も切も切も切も切
梅	凡	湛	市	修	古	中	秋

田
中
取

廣くわき田にそそぐ雲は
 一ふりなまふくまふ田外
 いろもくまふ味のまふ田外
 山ぬきふくまふ田外
 まふまふ田外直ふ日ふ外
 まふ紋ふくまふ田外
 竹ふくまふ田外山の月
 くらふくまふ田外
 まふまふ田外
 まふまふ田外

高文
 芳樹
 一政
 雀嫂
 省吾
 苗我
 鳥公
 掌杖
 友子
 古島

豆植

蚤

去りてわらう電やくるひを
 横河のちよとありくは
 ゑんてやぶ葉うつくし
 一つまゝにけしきあるあふ
 かしこやけちめの人づ
 ぬきあふもさうゆ
 うるうもりのちちい
 まふもふもさうあふ
 まゐてあふうや舟のね
 うらうにわけのあふむ

山年
 梅窓
 連山
 塞馬
 知道
 馬良
 沙窗
 買雪
 芝林
 大橋

虫 鼈	虫 將	昔人 乃以 妻之 大年 沈節 昇高 女 在琴 岳如 多子
昔人 乃以 妻之 大年 沈節 昇高 女 在琴 岳如 多子	昔人 乃以 妻之 大年 沈節 昇高 女 在琴 岳如 多子	昔人 乃以 妻之 大年 沈節 昇高 女 在琴 岳如 多子

虫 賣	蝸 牛	東山 長山 磐石 鳳朗 卓大 松雪 茶尺 石峰 茶新 修林
東山 長山 磐石 鳳朗 卓大 松雪 茶尺 石峰 茶新 修林	東山 長山 磐石 鳳朗 卓大 松雪 茶尺 石峰 茶新 修林	東山 長山 磐石 鳳朗 卓大 松雪 茶尺 石峰 茶新 修林

蛭	蚰 蛇	ねんねー一日めーやめーう にふ用いまー延ーすかーう がうー山をえーうーうーあ ーちーやーいーちー車 田をーう角をーうかーう かーうーさーの根をーうの葉 いーちーちーあーいーちー 西へたーう月おまーうあーう 血をーうさーうさーうの血 人ーうーうーうさーうの血	柳月 鷺秋 蛙眠 木雪 深山
---	--------	---	----------------------------

鼓 虫	蟪 蛄 生	蛇 脱 衣	水 鷄	岳鳳 木壺 其言 規窓 結毛 烏白 市光 烟海 梅窓 冬節
--------	-------------	-------------	--------	--

糗

[illegible]

升是 布衣 松子 左琴 溪雲 夢秋 溪雲 紅西 柏笑 竿流

鵠

[illegible]

一 皓 樹 聲 由 誓 紉 年 琴 秋 左 琴 嶠 川 孤 白 俠 叟

鵝

浪々 緑の海へ かくる
はるかなる なるを おもひ
ふ 福者の 世を かくる

桑 蓬 逸
剛 室 淵

六
月

六
月

八月やうききききききき

二文

方角やあなをうけとるの事

柳子

古力やねのうしろ海の家

乐并

土月やうな切をうける

其挑

水無月

くさくさや升る山

龜
訂

湖心亭記

花挂

ふたつは、
やういふ
やういふ
やういふ

越
翼

三才圖會

計
票

水室

四月朔より九月まで、
六月朔日とす。いふは、
大月とす。

水

古人のうらや

5

多

父

七

三

4

冰

芝蘭

古

我

4

三

少美

三

古

87

三

一夜酒

いづいづるにほろや水もろ
公夏根原曰一夜さかきあつて聖日候
すもろかろつねつるのあきこあきと
又水病よもつねつる甘き

古人の言

痛き世に入らるるあき枝原

おろろろ月つ甘き一夜さ

ねろろろ眼をさるるあき

よろろろいづるにほろや

らろろろいづるにほろや

祇園會

祇園をさるるあき

新花

祇園舞

祇園をさるるあき

金波

ふねをさるるあき

山甫

ねろろろ月つ甘き一夜さ

鞍馬竹切

大月つ甘き一夜さ

ねろろろ月つ甘き一夜さ

ねろろろ月つ甘き一夜さ

ねろろろ月つ甘き一夜さ

ねろろろ月つ甘き一夜さ

ねろろろ月つ甘き一夜さ

ねろろろ月つ甘き一夜さ

ねろろろ月つ甘き一夜さ

ねろろろ月つ甘き一夜さ

ねろろろ月つ甘き一夜さ

杜
鰲

八金女

辭文

白雀女

丸花

羊子

梅路

龍山

八金女

嘉禾

一
好

杜鰲

東養

竹臺

榮枝

五
鈴

山
四

茶丈

卷山

六
外

諺杖

樗山

團

[illegible]

鳳嘴 田後 溪梅 三古 高山 岐蝶 默言 必雀女 尤參

汗

汗 拭 汗 掛 日 傘

杜鰲 宗古 算子 學鴻 龍水 友子 蟾秋 亮曠 素口

章

日かゝるさきとて日くちをみくらう 湯浴
 まる中うきり日くち 一應
 うきり日くち日くち日くち 柳枝
 うきり日くち日くち日くち 海外
 うきり日くち日くち日くち 詩秋
 うきり日くち日くち日くち 逸水
 うきり日くち日くち日くち 柳之
 うきり日くち日くち日くち 素竹

枕 龍

枕 龍

竹をりくち日くち日くち日くち 麦林
 うきり日くち日くち日くち 鹿白
 うきり日くち日くち日くち 素六
 うきり日くち日くち日くち 梅價
 うきり日くち日くち日くち 大老
 うきり日くち日くち日くち 希因
 うきり日くち日くち日くち 破竹

竹臺
 竹坡
 修社
 太甫
 蘇九
 山乐
 城三
 振
 梅大
 省二

[illegible]

涼

薰風

涼風の料簡は外の秋をふ
おすゝゝ涼風はひらいたを
すゝゝ涼風のひらいたを
ひらいたをひらいたを
ひらいたをひらいたを
ひらいたをひらいたを
ひらいたをひらいたを
ひらいたをひらいたを
ひらいたをひらいたを
ひらいたをひらいたを

丁口 雲草 日月 千翠 花友 磐秋 一出 南雲 古推 草子

納涼

一枚の涼風の秋をひらいたを
涼風のひらいたをひらいたを
ひらいたをひらいたを
ひらいたをひらいたを
ひらいたをひらいたを
ひらいたをひらいたを
ひらいたをひらいたを
ひらいたをひらいたを
ひらいたをひらいたを
ひらいたをひらいたを

鷹秋 宜頂 柏庭 茶丘 安歩 止友 青肩 碧山 柳枝 天遊

清水

打 水

芥いふあふれふはの介 芳屋
山つとふふふふふふふ 秀一
ふふふふふふふふふふ 哥寛
ふふふふふふふふふふ 雲舟
月も日もふふふふふふ 計胤
ふふふふふふふふふふ 鼻端
ふふふふふふふふふふ 池月
ふふふふふふふふふふ 苗雅
ふふふふふふふふふふ 磐秋
ふふふふふふふふふふ 林秀

心 太

葛 水

ふふふふふふふふふふ 丁口
ふふふふふふふふふふ 梅家
ふふふふふふふふふふ 浦酒
ふふふふふふふふふふ 空雲
ふふふふふふふふふふ 梅鳩
ふふふふふふふふふふ 白如
ふふふふふふふふふふ 志亭
ふふふふふふふふふふ 左琴
ふふふふふふふふふふ 法節
ふふふふふふふふふふ 琴秋

冷水

多小下置た我の目わち極む 生虎

水賣

お月のうけもさすひて冷る 多流

水飯

おの娘の指やふけまのう 花桂

引飯

あゝやおの目とそふと送る 紫山

小ぢーやまんのまきもくくく 香保
干飯や冷あゝまきもくくく 三六
つゝとよふとくくく 浮く
引飯や冷あゝまきもくくく 水

夏六十二

切麥

あやのちくちくちく 遊流

冷酒

切まきりくももるく 双鵲

冷汁

きりらんと流るく 世女

煮冷

あまきりくももるく 映門

夏切茶

あまきりくももるく 省我
あまきりくももるく 工龍
あまきりくももるく 生青
あまきりくももるく 系延
あまきりくももるく 青之

古人の云

夏切の夢^京
あやうきと云ふ
主

舟乃航ち
波乃うきや
五切景
雀の

月と花のころよもど月と花とあふなりはる中より
 あうて情中とあうてはるのそとをのむ

古人のるゝ

[illegible]

ふらふらの谷風ふやふや
ふらふやふやふや
竹朝

夏をきく心なす秋の目如外
雨辰

なつ穂乃らふ竹乃ら
ねうハ
凸
凹

香齋而敢

夏瘦

夏六十三

曝井

蓮

夏を乃眼くはる年の
新ふ
山南

なつやとやふあゝきき屋風の里
とまき

井ノ口
徳小
新丁
十石
揚外

壽秋

人國々々々々々々々々
林曹

南羅

遠くあやほしくまうと詠し
 ささひ入りまうと止るまうふ
 まの風あうは世をこゑに
 あひまうはまうまうまう
 る指の横うめうやまのふ
 降くも馬をもあうまのふ
 まのまうまのふのまうふ
 はばやそをまうまう上
 あうまうまうまうまう
 かうまうまうまうまう

悠々
 一雙
 貞常
 勢良
 系友
 磐秋
 其山
 性賦
 古庵
 巨川

可耕
 北洋
 栄枝
 長山
 大寺
 北山
 三月より八月に
 栄枝
 長山
 大寺
 北山

海松

あまのやうにふくむひのくもるき
いづれのあまのふくむひのくもるき

井隣
奈延

撫子

なけけふつらふくむひのくもるき
いづれのあまのふくむひのくもるき

崔雨
昂左

石竹

あまのやうにふくむひのくもるき
いづれのあまのふくむひのくもるき

甫見
湖机
儿凉
西辰
雪林

釣鐘

あまのやうにふくむひのくもるき

未雪

風蘭

あまのやうにふくむひのくもるき

友子

玉簪

あまのやうにふくむひのくもるき

明月

雪下

あまのやうにふくむひのくもるき

戸也

鷺洲

あまのやうにふくむひのくもるき

左琴

あまのやうにふくむひのくもるき

語言

日扇

音鬼灯

林檎

麻

夏引糸

綿花

紫菀

小角豆

日扇 日扇のちやうど ちやうど ちやうど
 音鬼灯 音鬼灯のちやうど ちやうど ちやうど
 林檎 林檎のちやうど ちやうど ちやうど
 麻 麻のちやうど ちやうど ちやうど
 夏引糸 夏引糸のちやうど ちやうど ちやうど
 綿花 綿花のちやうど ちやうど ちやうど
 紫菀 紫菀のちやうど ちやうど ちやうど
 小角豆 小角豆のちやうど ちやうど ちやうど

持たねむり白麻のちやうど ちやうど ちやうど
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど
 古人のちやうど
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど
 大文三 右朗

夏引糸 夏引糸のちやうど ちやうど ちやうど
 綿花 綿花のちやうど ちやうど ちやうど
 紫菀 紫菀のちやうど ちやうど ちやうど
 小角豆 小角豆のちやうど ちやうど ちやうど

蠅

蠅

やうきり無うてけれもひか	かきもふたうてあゝもひか	きうてゑもえきももひか	人んも脊をこすもひか	おろそくすゑもや蠅か	かきもあゝもやあや蟬	蟬くつやゝももあひまを	目く向くもあひまのあひま	きもあゝもきもあゝもあゝ	きもあゝもあゝもあゝも
清秋	龍尾	静秋	静秋	主宗	杜詩	席山	古琴	卓池	唐白

燈

蛾

敷りきゝふあゝもあゝも	ひくもあゝもあゝもあゝも	ひくもあゝもあゝもあゝも	ひくもあゝもあゝもあゝも	ひくもあゝもあゝもあゝも	ひくもあゝもあゝもあゝも	ひくもあゝもあゝもあゝも	ひくもあゝもあゝもあゝも	ひくもあゝもあゝもあゝも	ひくもあゝもあゝもあゝも
持笠	竹友	達笑	凸凹	古道	規介	春室	路江	谷蛙	管秋

夏虫

かきくもきさあゝきさひてふれ虫
たつちうと陳りたるのうささる虫
えささる名いしむもふら虫
あつちんそねはすもふら虫
看たり目さきささやふらの虫
けふは悔もあわてなせは四月又々金銀に
教ふは漂くお物ふ網より人余ふら
値をさけく物ともあり春をささき
ゆささささ

古人のうら
うささるやうささるやうささる
はうささるやうささるやうささる
乃上ささるやうささるやうささる

春日
あは
木雪
た雪

曾北
友子
中

鯖
魚

海月取

秋も月もあつむ沖やうけぬ 夕梅
月もあつむいさうくけぬ 二弦
鯨鰻と脂多しきとて用りくめ魚大乃
最鮮とて切ゆきとてくす又薑蓼
芥子山葵荳蔻胡椒柑金橘葉芥服下風
甘紫ふく撫おとろくあれと食す可なり
終る終るなり

沖
贈

川
將

とうろくあうゆー 仲かた
 ねえー 吹きこー 仲かた
 川ねり 町屋をりりりりり
 川ろく連れささひささの西
 焦影 雀雨 計數 紫山

